

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR19018
1 研究課題名	先天性爪欠損に対する骨付き爪静脈皮弁による爪再建
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 小野澤久輔 同 部長 平瀬雄一、医師 大久保ありさ、柳下幹男
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019年11月27日 情報等調査期間 開始：2014年1月1日 ～ 終了：2019年9月30日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	先天性爪甲欠損症に対する手術方法は未だ確立されていない。今回当院において、1986年に中山らが報告した爪静脈皮弁に、爪直下の末節骨小骨片を付ける方法を用いており手術成績について検討する。対象は、上記3に記載の情報等調査期間中に先天性爪欠損に対する骨付き爪静脈皮弁による爪再建術を行ない、術後4ヶ月以上フォローが可能であった症例とする。対象患者様の手術記録、手術動画、記録写真、カルテ記録、画像診断を過去に遡って調査する。検討項目は年齢、性別、部位、術式、術後動注の有無、成績、術後追加手術等とし、個人が特定される情報は含まれません。
5 研究の対象 となる方	2014年1月1日～2019年9月30日の間に、当院手の外科において先天性爪欠損に対する骨付き爪静脈皮弁による爪再建術を受けた方
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	先天性爪欠損に対する骨付き爪静脈皮弁による爪再建術について、当院の豊富な症例の解析を行い、最適な手術方法、術後動注の必要性、追加手術等について検討し、学会および論文にて発表します。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	利用する情報は、手術記録、手術動画、記録写真、カルテ記録、画像診断です。個人が特定されるカルテ番号、生年月日などは情報から切り離して使用します。
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記2と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先 所属：手の外科・マイクロサージャリーセンター 名前：小野澤久輔(研究責任者) 住所 東京都千代田区二番町7-7 電話 03-3261-0401 FAX03-3261-0402